

栄東まちづくり協議会・委員会

平成 30 年 12 月 20 日 18:30～
栄東まちづくり協議会会議室

議題：

1 会員が所属する団体等との契約の承認案件 別紙 1

2 2019 年度事業計画(案)及び予算(案)

(1) 協議会構成団体の予算要望

栄東まちづくりの会 別紙 2

栄東発展会 別紙 3

栄東女子大小路ビル協会 別紙 4

(2) 検討経過

12/13(水) 団体長会議

栄東まちづくり協議会、栄東まちづくりの会、

栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会

12/18(水) 正副部会長会議

防犯防災快適部会、道路公園部会、にぎわい部会、多文化

共生部会、まちづくりビジョン策定合同部会

(3) 2019 年度事業計画(案) 別紙 5

(4) 2019 年度予算(案) 別紙 6

< 参考 >

「栄東まちづくり協議会 2019・2018 年度 予算(比較表)」 別紙 7

「平成 30 年度予算・決算見込、2019 年度予算案(比較表)」 別紙 8

3 その他

報告事項：

1 イルミネーションフェスティバル 2018

(1) 池田公園イルミネーションイベント

① 内容

11/16(金) イルミネーション点灯式、ステージイベント等

11/17(土) クリスマスデコレーションコンテスト、餅つき大会、ふわふわドーム

② 費用

・ 協議会負担分

設営費(机、椅子、ふわふわ、仮装用品、ゴミ袋等資材)、ステージ出演料、ポスター印刷、配布等、クリスマスツリー、ツリー用 LED 装飾等

- ・ 金額
1,034,210 円

(3) 女子大小路歩行者天国 (11/16)

- ① 内容
 - ・ 机、椅子を並べ、周辺協力からテイクアウトしたものを飲食
 - ・ ステージイベント
- ② 費用
 - ・ 内容
設営費(机、椅子、ステージ、音響設備)、ステージ出演料、ポスター印刷、配布等
 - ・ 金額
813,296 円
- ③ 来場者及び協力店舗アンケート

別紙 9

2 まちづくりビジョン策定合同部会

- (1) 日時
平成 30 年 11 月 26 日 18:30～
- (2) 議題
 - ① 地図で見る栄東の変遷
 - ② データで見る栄東

3 にぎわい部会

- (1) 日時
平成 30 年 11 月 26 日 18:30～
- (2) 議題等
商業ビルのリノベーション 中村区の堀江ビルの事例
講師 : 堀江ビルオーナー 堀江浩彰氏
アドバイザー : 名古屋大学大学院環境学研究科 小松尚准教授

4 その他

- * 総会の日程
- * 次回委員会の日程

1 会員が所属する団体等との契約の承認案件

● 栄東まちづくり協議会規約 (委員会)

第9条 協議会に委員会を置く。

2 委員会は、委員をもって構成し、次の各号に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 事業計画の立案及び予算の調製に関すること。
- (2) 事業報告の作成及び決算の調製に関すること。
- (3) 事業計画に基づく事業の執行に関すること。
- (4) 会員が所属する団体等との契約に関すること。
- (5) その他、協議会の運営に関すること。

(1) 契約の概要

① 相手方

合資会社餅正製菓舗(代表者 宇野 強)

所属会員 老松第4町内会会長 宇野 房代

② 内容

11月17日に開催された池田公園でイルミネーションフェスティバルの餅つき大会における資材(15臼の蒸した餅米、あん、きなこ等)、臼、杵3式の用具等の提供

② 金額

129,600円(税込)

(2) 契約の理由

① 契約の相手方は、名古屋市内を中心に多くの地域の餅つき大会に資材、用具を提供し、品質、サービスにおいて、信頼を得ている。

② 契約の相手方は、多数の地域のボランティアスタッフとの協働体制を確立していて、安全、廉価で確実に業務が遂行できる。

平成30年11月27日

栄東まちづくり協議会
会長 辻本 昌孝 様

栄東まちづくりの会
会長 田端 龍

2019年度予算に関する要望書

1 第50回池田公園夏まつりの充実

恒例の池田公園夏まつりは、地域のコミュニティの場、地域の魅力と情報発信の場として、栄東地区の住民、事業者が協働し、創意工夫しつつ継続してきている。2019年で第50回を迎えるため、従来以上に魅力と集客力を向上させ、また参加者、従事者の満足感を高められるようなイベントとするため、内容の充実を図る。

2 栄東地区の魅力を発信する新しいイベントの実施

名古屋市中区では栄ミナミ、大須、金山地区において地域の特色あるイベントが実施されている。栄東地区には外国料理のレストランが多数存在し、多様な人々の活動がある。こうした地域の「多様性（ダイバーシティ）」を反映した、また他の地域でおこなわれていない魅力あるコンテンツを含む、特色のあるイベントを企画、実施する。

3 栄4丁目地域への防犯カメラの設置

栄5丁目には平成29年度に協議会の事業として、栄5丁目に37か所42台の防犯カメラが設置された。栄4丁目には繁華街がある女子大小路があり、県警が広小路、久屋大通、空港線の外周部を除く、ほとんどの交差点に21台設置しているものの、三差路などは一部未設置であり、交差点の中間など、設置が必要な個所がある。栄東地区の地域防犯力をさらに高めるため、栄4丁目に防犯カメラを設置する。

4 カラス対策の実施

栄東地区では女子大小路のある栄4丁目を中心に、商業ビル、集合住宅内または路上へのゴミの設置が多い。このため、カラスによるゴミの散乱が目立ち、池田公園も含めフン害も多い。平成30年度の事業計画では、ビル屋上へのカラスのエサ、わな設置による捕獲の調査の実施も検討されたが、路上等にエサがあれば効果が期待できない。

まずは、ゴミ出しのマナーの啓発、不適切なゴミ出しの調査、注意喚起などのカラス対策を実施する。

平成 30 年 11 月 19 日

栄東まちづくり協議会
会長 辻本 昌孝 様

栄東発展会
会長 田端 龍

2019年度予算に関する要望書

1 第50回池田公園夏まつりの記念企画の実施

恒例の池田公園夏まつりは、2019年で第50回を迎える。このイベントを、より特色と魅力のあるものとするため、集客力のあるアトラクション、大型舞台、照明などの装飾、設備等の充実を図り、第50回の記念企画として実施する。

2 カラス対策の実施

栄東地区内のカラスによるゴミ散乱防止キャンペーンと不適切なゴミ出しを行う事業者等への改善要望などのカラス対策を実施する。

3 児童遊園地、どんぐり広場の整備

栄東地区には児童公園地が4か所、どんぐり広場が1か所ある。夜間は真っ暗になり、不審者の侵入、夜明かしが多く、ゴミの不法投棄も多くあります。また水栓がないところもある。このため、フェンス、門扉、照明等の治安対策を行うほか、防災、利便性向上のため、防災倉庫、給排水設備の整備を進める。

平成30年12月4日

栄東まちづくり協議会
会長 辻本 昌孝 様

(一社)栄東女子大小路ビル協会
会 長 野田 剛司

平成31年度予算要望

1 池田公園、女子大小路におけるにぎわいづくりのための新しいイベントの実施

栄東地区の中心に位置する池田公園を中心に、女子大小路をどんな街にすれば良いか、にぎわいづくりのための集客力のある新しいイベントを検証し実施する。カラオケ大会なども検討する。

2 安心なまちづくりを推進するための防犯カメラの設置

栄東まちづくりの会で設置した防犯カメラは撤去されている。その周囲は手薄になっていると思われるので、特に4丁目の撤去跡に防犯カメラを設置する。

3 カラス対策の実施

栄東地区、とりわけ女子大小路地区にはカラスが多く、ゴミの散乱、フン害が発生しているため、効果的なカラス対策を実施する。同時に住民、事業者へのゴミに関する啓蒙を進める。

4 AED 設置状況の調査及び設置

安心・安全な街をアピールするために、AED の設置建物を調査し、足りない箇所に設置を 検討する。また、安心マップを制作する。

5 まちづくり調査、視察、勉強会

昨年、公園部会で池袋や大久保に視察に行き勉強をしたが、今期も引き続き、まちづくりの先進事例の視察や勉強会を行う。

6 携帯トイレの普及・多文化共生でも啓蒙活動

防災訓練に於いても大きな反響があった、災害時に水を使わないトイレ（携帯トイレ）の普及に努める。特に多文化共生の中での外国人に理解してもらい地域の一員として防災に関心をもってもらう。

7 有料駐輪場設置への検討会設立

栄東地区には郊外駅と異なり、地域全体の歩道に大量の自転車が放置され、歩行障害、美観の低下を招いている。毎月1回の夜間パトロールでのエフ付けの枚数もなかなか減らない状況である。歩いて楽しい街を実現するためにも、放置禁止区域の指定と合わせた有料駐輪場の整備を検討する。

8 平成30年度事業の継続

栄東まちづくりの会とともに主催している池田公園夏祭り、イルミネーションイベント、防災訓練、防災講習会のほか、街路灯の整備、Wi-Fi の整備、イルミネーション装飾、多文化共生事業、池田公園再整備検討、商業地区活性化の研究などを引き続き実施する。

2019 年度事業計画（案）

1 防犯事業

(1) 防犯カメラの設置

平成 29 年度には栄 5 丁目に 37 か所 42 台の防犯カメラを設置した。栄東地区のうち栄 4 丁目には県警が交差点に 21 台設置している。平成 30 年度に、さらに栄東地区の地域防犯力を高めるため、栄 4 丁目の不足している場所に防犯カメラを 10 基設置することとしたが、不執行となった。今年度、栄東地区で不足していると思われる個所に 10 基整備する。

また既設の防犯カメラの運営、維持管理を行う。

(2) 防犯パトロールの実施

引き続き、栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会とともに栄東地区内の防犯パトロールを実施する。

2 防災事業

(1) 防災訓練

平成 30 年度に引き続き、栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会とともに主催し、池田公園において防災訓練を行う。

協議会としては、広報、啓発物品の購入を行う。

(2) 防災・防犯講習会

平成 30 年度に引き続き、栄東まちづくりの会、栄東発展会、栄東女子大小路ビル協会、中消防署とともに主催し、中区役所ホールにおいて講習会を行う。

協議会としては、広報、啓発物品の購入、設営、講師等の依頼を行う。

3 環境美化事業

(1) 落書き消し活動

栄東まちづくりの会とともに栄東地区内の落書き消し、いたずらシール剥がし活動を行う。協議会としては、ペンキ、有機溶剤、道具等の資材の購入を行う。

(2) カラス対策

栄東地区、特に女子大小路、池田公園にカラスが多く、ゴミの飛散、フン害が多い。平成 30 年度に捕獲のために調査を行うこととしたが、カラスの餌となるゴミがビル等の周辺の不適切に放置されていることから、捕獲のための調査の前に、まずはゴミ出し方法の適正化のための啓発、ゴミの設置状況を調査、不適に放置しているビル管理者への注意喚起などを行う。

4 街路灯事業

(1) 街路灯の更新

平成 30 年度に引き続き、栄 4 丁目、5 丁目の街路灯を 24 基更新する。

＜参考＞（平成 30 年度末予定）

- | | | |
|---------|---------|---------------------------|
| 1 既存街路灯 | 264 基 | （30 年度 64 基撤去後） |
| 2 新設街路灯 | 29 年度整備 | 20 基、30 年度整備 46 基 合計 56 基 |

（2）街路灯の維持管理

新設の街路灯及び一元管理のため、町内会から移管した街路灯の電灯料を負担し、修繕等を行う。

5 公園整備事業

（1）池田公園再整備構想の検討

平成 30 年度に引き続き池田公園の再整備構想の検討を進める。今年度は整備及び維持管理、運営への民間活力の導入、パークマネジメントの手法を検討する。

（2）児童遊園地、どんぐり広場の整備

栄東地区には児童公園地が4か所、どんぐり広場が1か所ある。夜間は真っ暗になり、不審者の侵入、夜明かしが多く、ゴミの不法投棄も多い。また給排水設備がないところもある。このため、フェンス、門扉、照明等の治安対策、給排水設備のほか、災害対策のため防災倉庫の整備を進める。

6 道路空間整備検討事業

平成 30 年度に引き続き、栄東地区内の道路を、違法駐車がされにくく、放置自転車のない道路、歩いて楽しい空間とするため、自転車駐車場の整備、放置禁止区域の指定の検討を始め、道路のあり方、道路空間の再配分等を検討する。また、その社会実験として、歩行者天国を平成 30 年度に引き続き実施する。なお、来場者アンケート等を踏まえ、2 回実施する。

なお、名古屋市による無料の自転車駐車場は、久屋大通、武平通、空港線、平成 30 年度には瓦通で整備されたが、整備空間の確保が困難となってきた。今後は放置禁止区域の指定と合わせた路外駐車場の整備、駐車場の有料化、その経営手法を検討し、行政に対策を働きかけていく。

7 多文化共生事業

平成 30 年度に引き続き、外国人の生活支援のための相談事業を実施する。また、外国人と地域住民等の交流の機会として、イベントを実施する。

8 地域活性化事業

名古屋の都心部は名駅地区がビジネス地区、商業地区としても発展し、栄、伏見地区でも商業、住宅開発が進んでいる。一方、栄東地区は都心部栄の立地を活かしきれていない面があり、賑わいづくりが必要となっている。

こうした状況から、平成 30 年度に引き続き、夏祭り、イルミネーションイベント等の実施、イルミネーション装飾、公衆無線 LAN（Free Wi-Fi）の活用、商業地区のリノベーション、再開発の研究等の地域活性化事業を行う。

（1）夏祭り、イルミネーションオープニングイベント及び新たなイベントの実施

平成 30 年度に引き続き、池田公園での夏祭り、女子大地蔵祭り、イルミネーションイベントに実施する。夏まつりについては第 50 回記念として、内容を充実して行う。

また、魅力と情報発信力のある新しいイベントを実施する。

(2) イルミネーション装飾

平成 30 年度に引き続き、池田公園内及び東栄通の歩道の広小路から池田公園まで、瓦通の久屋大通から空港線までの歩道のイルミネーション装飾を実施する。なお、東栄通については平成 30 年度に街路灯の更新があったために、取付方法を変更する。

(3) 公衆無線 LAN(Free Wi-Fi)の活用

Wi-Fi サービスを活用し、地域の魅力発信、集客を図る。

(4) 商業地区活性化の研究

平成 30 年度に引き続き、まちづくりの視点から既存ビルのリノベーション、再開発による魅力づくり、にぎわいの回復の可能性、手法を研究する。

9 調査研究事業

(1) まちづくりビジョンに基づく総合的な施策の推進のための調査研究

平成 30 年度に策定する、栄東地区のまちづくりのマスタープランである「まちづくりビジョン」に基づき、総合的な施策の推進を推進するため、他都市調査、講習会等の調査研究を行う。

(2) エリアマネジメントの調査研究

将来的には栄東地区のエリアマネジメント組織の設立も想定し、持続可能なまちづくりの体制の調査研究を行う。

(3) その他の調査研究

今後とも、協議会が様々な事業を企画、実施していくためには、全国のまちづくりに関する情報を収集し、研究していくことが必要となる。そのために、先進事例の視察、まちづくり団体への加入又は連携等を行う。

10 旧町名板設置事業

戦災で焼け野原となった名古屋市中心部にある栄東地区には歴史的資産が残っていない。こうした中で、歴史の重みを感じることができる旧町名は一部の通り、町内会の名前に残っているのみである。住民、来訪者に旧町名を広く周知し、栄東地区に歴史を感じ愛着を持っていただけるように、街路灯（防犯灯）の広告枠の一部、34 基に旧町名を表記する。

栄東まちづくり協議会 2019 年度予算(案)

事 項	内 容 ・ 内 訳		金額(円)
1 防犯事業	1 栄4丁目に防犯カメラを整備(10基)	1,520,000	1,652,000
	2 既設置カメラの運営、維持管理	132,000	
2 防災事業	1 防災訓練の実施	93,000	668,000
	2 防災・防犯講習会の実施	575,000	
3 環境美化事業	1 落書き消し活動	110,000	160,000
	2 カラス対策	50,000	
4 街路灯事業	1 街路灯の更新(24基)	19,827,000	22,785,000
	2 街路灯の維持管理	2,958,000	
5 公園整備事業	1 池田公園再整備構想の検討	2,500,000	4,135,000
	3 児童遊園地等の整備	1,635,000	
6 道路空間整備検討事業	違法駐車がされにくく、放置自転車のない、歩いて楽しい道路空間の検討、歩行者天国(社会実験、2回)の実施		2,000,000
7 多文化共生事業	外国人の生活支援のための相談事業、イベントの実施		2,226,000
8 地域活性化事業	1 池田公園夏祭り、イルミネーションイベント、新たなイベントの実施	6,000,000	13,827,000
	2 イルミネーション装飾(池田公園内、東栄通及び瓦通の歩道)	4,833,000	
	3 公衆無線LAN(Free Wi-Fi)の活用	1,714,000	
	4 商業地区活性化(リノベーション、再開発)の研究	1,280,000	
9 調査研究事業	1 まちづくりビジョンに基づく総合的な施策の推進のための調査研究		482,000
	2 エリアマネジメントの調査研究		
	3 その他の調査研究		
10 旧町名板設置事業	1 旧町名板の設置(34か所)		1,112,000
事業費 計			49,047,000
事務費	事務局人件費、事務所賃料、水道光熱費、備品・消耗品購入費、会計委託費等		14,953,000
総 合 計			64,000,000

栄東まちづくり協議会 平成 30 年度予算・決算見込、2019 年度予算案（比較表）

（金額単位：円）

事 項	内 容	30 当初予算 (A)	30 決算見込 (B)	差引 (A-B)	増減理由	2019 予算 (C)	増減 (C-A)
1 防犯事業	防犯カメラ整備(10 台)、維持管理	1,813,000	31,156	1,781,844	整備見送り	1,652,000	▲ 161,000
2 防災事業	防災訓練、防災講演会の実施	1,032,000	696,010	335,990	会場費、啓発物品の減	668,000	▲ 364,000
3 環境美化事業	落書き消し、カラス対策	624,000	107,492	516,508	カラス対策見送り	160,000	▲ 464,000
4 街路灯事業	整備(25 基)、既設維持管理	20,157,000	37,760,200	▲ 17,603,200	25→46 基、危険街路灯撤去 64 基	22,785,000	2,628,000
5 公園整備事業	池田公園の再整備検討、池田公園照明、児童遊園地整備	4,316,000	2,700,000	1,616,000	池田公園照明未整備、児童遊園地事業量減	4,135,000	▲ 181,000
4 道路空間再整備 構想検討事業	違道路空間の検討、社会実験	1,000,000	813,296	186,704	設営費等の減	2,000,000	1,000,000
5 多文化共生事業	日本語教室、相談、イベント	1,750,000	1,372,397	377,603	日本語教室未実施	2,226,000	476,000
6 地域活性化事業	1 地域イベントの実施	5,400,000	3,158,674	2,241,326	新しいイベント未実施	6,000,000	600,000
	2 イルミネーション装飾	4,458,000	4,233,400	224,600	事業量増(歩道延長拡大)	4,833,000	375,000
	4 公衆無線 LAN(Free Wi-Fi)の整備とコンテンツ充実	2,333,000	1,880,450	452,550	コンテンツ充実の減	1,714,000	▲ 619,000
	5 商業地区活性化の研究	1,580,000	881,600	698,400	落札差金、報償費減	1,280,000	▲ 300,000
7 まちづくりビジョン策定事業	ワークショップ等	2,660,000	1,023,600	1,636,400	落札差金、報償費減	調査研究事業に含む	▲ 2,660,000
8 調査研究事業	他都市調査、書籍購入等	241,000	85,036	155,964	出張、書籍購入の減	482,000	241,000
9 その他事業	1 旧町名銘板の設置	1,296,000	0	1,296,000	事業見送り	1,112,000	▲ 184,000
	2 広報掲示板の設置	2,699,000	240,000	2,459,000	設置個所の減	-	▲ 2,699,000
事業費 計		51,359,000	54,983,311	▲ 3,624,311		49,047,000	▲ 2,312,000
事務費	事務局人件費、事務所賃料、水道光熱費等	13,641,000	10,016,689	3,624,311	固有職員採用時期の遅れ、備品費、雑費の減	14,953,000	1,312,000
総 合 計		65,000,000	65,000,000	0		64,000,000	▲ 1,000,000

別紙 7

栄東まちづくり協議会 2019・2018 年度 予算(比較表)

(金額単位:千円)

事 項	2019 年度			2018 年度	差引 (A 又は B-C)	増減理由
	内 容 ・ 内 訳	金額 (A)	金額 (B)	金額 (C)		
1 防犯事業	1 栄4丁目に防犯カメラを整備(10 基)	1,520	1,652	1,520	0	
	2 既設置カメラの運営、維持管理	132		293	▲ 161	
2 防災事業	1 防災訓練の実施	93	668	266	▲ 173	啓発物品の見直し
	2 防災・防犯講習会の実施	575		766	▲ 191	会場費、講師謝金の減
3 環境美化事業	1 落書き消し活動	110	160	300	▲ 190	ペンキ代等資材の見直し
	2 カラス対策	50		324	▲ 274	捕獲方法調査の取りやめ
4 街路灯事業	1 街路灯の更新(24 基)	19,827	22,785	17,010	2,817	25→24 基、単価増
	2 街路灯の維持管理	2,958		3,147	▲ 189	修繕費見込修正
5 公園整備事業	1 池田公園再整備構想の検討	2,500	4,135	2,160	340	民間活力導入検討による増
	2 児童遊園地等の整備	1,635		2,156	▲ 521	池田公園照明増設の減
6 道路空間整備 検討事業	違法駐車がされにくく、放置自転車のない、歩いて楽しい道路空間の検討、歩行者天国(社会実験、2 回)の実施		2,000	1,000	1,000	社会実験回数 1→2 回
7 多文化共生事業	外国人の相談事業、イベント		2,226	1,750	476	日本語教室減、相談事業増
8 地域活性化事業	1 池田公園夏祭り、イルミネーションイベント、 新たなイベントの実施	6,000	13,827	5,400	600	夏まつり 50 回記念企画による増
	2 イルミネーション装飾 池田公園内、東栄通、瓦通歩道	4,833		4,458	375	街路灯更新による施工費の増
	3 公衆無線 LAN(Free Wi-Fi)の活用	1,714		2,333	▲ 619	アンテナ整備費の減
	4 商業地区活性化(リノベーション、再開発)の研究	1,280		1,580	▲ 300	報償費の減
9 調査研究事業	1 まちづくりビジョンに基づく総合的な施策の推進のための調査研究		482	2,901	▲ 2,419	まちづくりビジョン策定コンサル費用、アドバイザー謝金、出張旅費の減
	2 エリアマネジメントの調査研究					
	3 その他の調査研究					
10 旧町名板設置事業	旧町名板の設置		1,112	1,296	▲ 184	設置個所の見直し
11 広報掲示板設置事業			-	2,699	▲ 2,699	設置場所の確保困難
事業費 計			49,047	51,359	▲ 2,312	
事務費	事務局人件費、事務所賃料、水道光熱費、備品・消耗品購入費、会計委託費等		14,953	13,641	1,312	固有職員採用、倉庫賃料
総 合 計			64,000	65,000	▲ 1,000	

別紙 8

女子大小路歩行者天国 来場者へのアンケート

1 調査の趣旨

栄東まちづくり協議会のまちづくり事業の一環として、平成 30 年 11 月 16 日 18 時から 23 時まで、栄・女子大小路にある東栄通の池田公園の北西ワンブロックの路上をミニ歩行者天国にし、飲食空間、イベント空間としました。名駅周辺は駅上、周辺一極集中のタテの街。栄は面的に広がる街。そのまちづくりでは、道路や公園などの公共空間の役割がとても重要です。

都心部における道路の役割、機能、構造や、栄の中心市街地の女子大小路の未来を考えるため、違法駐車、放置自転車がされず、歩いて楽しい道路、にぎわいのある街を体験するイベントを社会実験として実施しました。当アンケートは、社会実験の来場者の評価を得るために実施しました。

2 調査の概要

(1) 調査方法

まちづくり協議会の会員の協力のもと、イベントに来場した人に、直接配布回収により行った。

(2) 調査期間

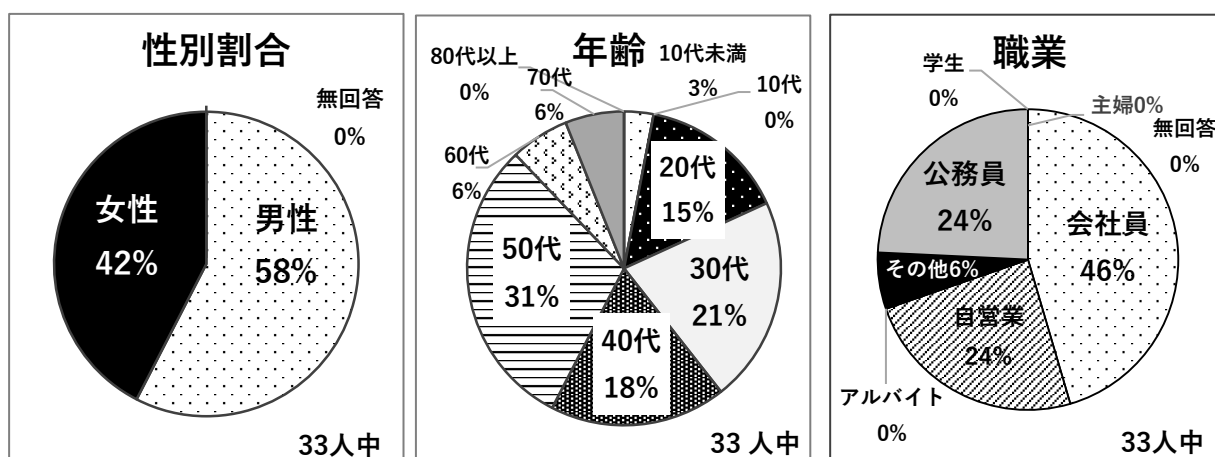
平成 30 年 11 月 16 日（金）18 時～23 時

(3) 回収結果

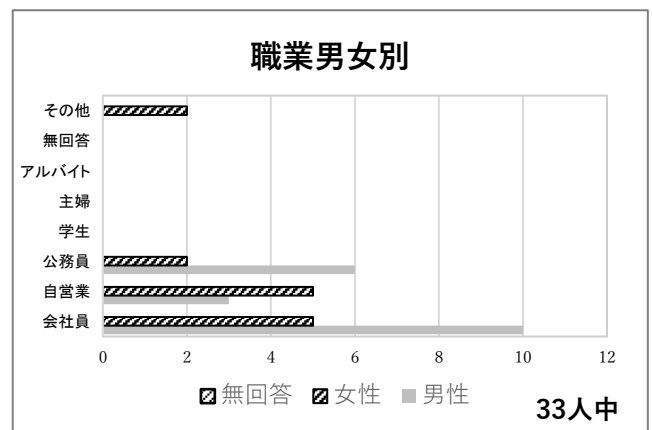
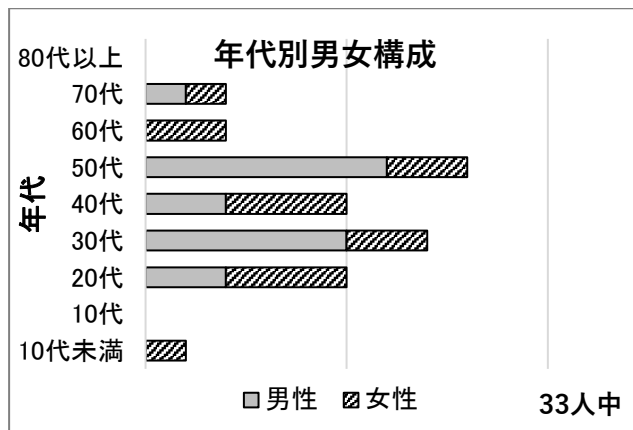
件数：33 通

3 調査結果

回答者の属性

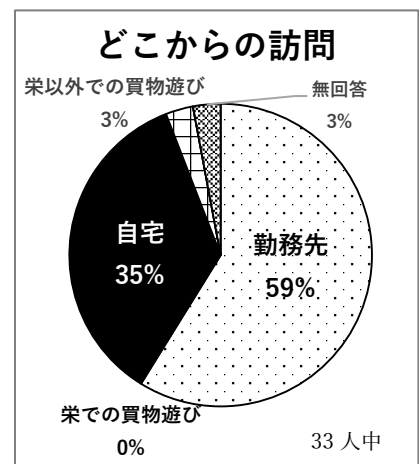
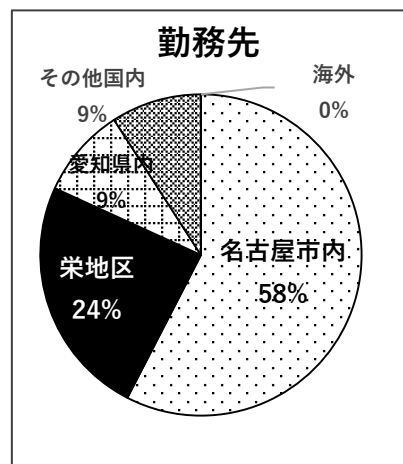
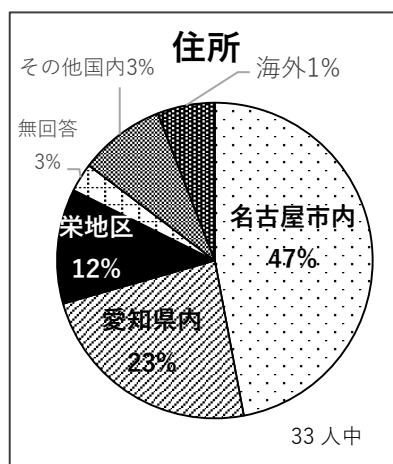


- ・ 回答者の性別は「男性」58%でやや多く、年齢は50代が31%で最も多かった。
- ・ 職業は「会社員」が46%と最も多く、次に「自営業」「公務員」がともに24%、「その他」6%と、回答者のほとんどは働いている。

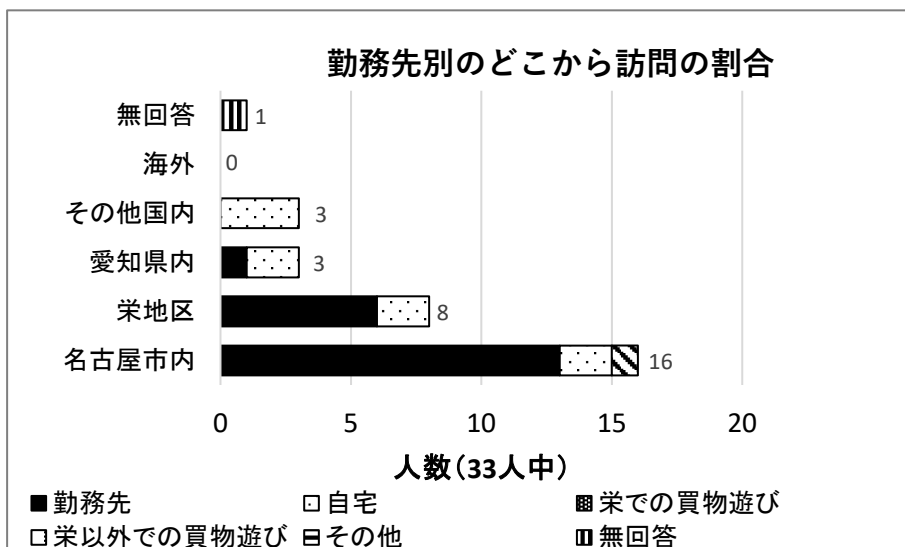


- ・男性は30代から50代の範囲が多く、女性は20代と40代が多い。60代は女性だけであった。
- ・職業は男女とも会社員が多く、特に会社員の男性が群を抜いて多かった。ついで公務員、自営業が多い。

回答者の住所等

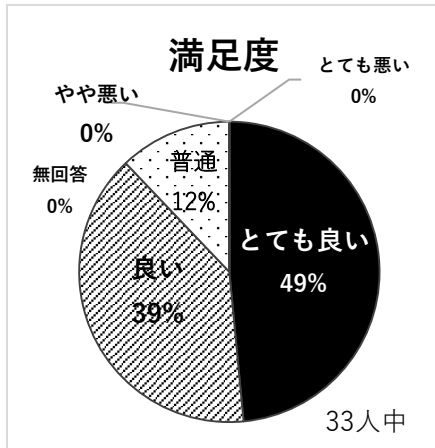


- ・住所は「名古屋市内」47%、「愛知県内」23%、「栄地区」12%、その他県外は3%であった。
- ・勤務先は栄地区を含む「名古屋市内」82%、「愛知県内」9%で職場が近い人がほとんどであった。

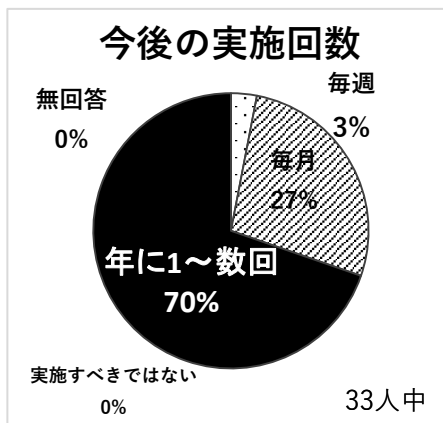


- ・どこからの訪問は「勤務先」59%と「自宅」35%を合わせると94%と多く、その他には「栄以外での買物、遊び」が3%であった。

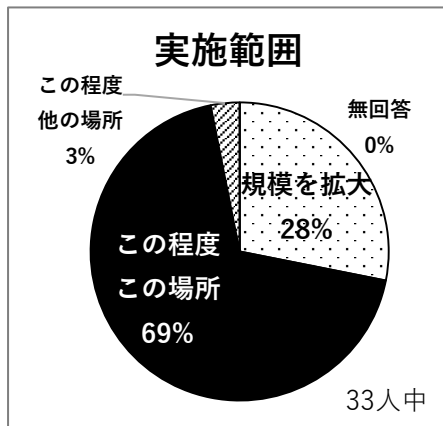
回答者の意見



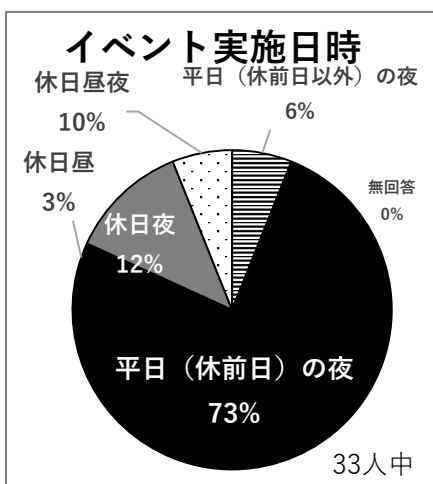
・満足度は「とても良い」49%、「良い」39%、あわせて88%が満足度が高く、「普通」12%、「やや悪い」「とても悪い」は0%であった。



・今後の実施回数については、「年に1～数回」70%と半数を占め、「毎月」27%、「毎週」3%となっており回数の増加が期待されている。「実施すべきではない」は0%であった。

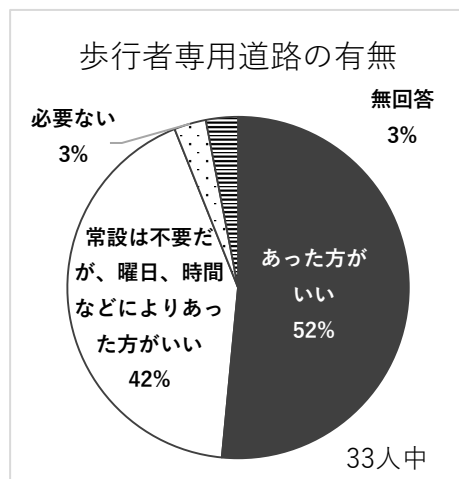


・実施範囲については、「この程度でこの場所で」69%、「規模を拡大」28%、「この程度、他の場所」3%であった。



・イベント実施日時については、「平日（休前日）の夜」73%、「休日夜」12%、「休日昼夜」10%、「平日（休前日以外）の夜」6%、「休日昼」3%であった。

歩行者専用道路の有無



・歩行者専用道路の有無については、「あった方がいい」52%、「常設は不要だが、曜日、時間などによりあった方がいい」42%で、「必要ない」と無回答がともに3%であった。

自由意見のまとめ（箇条書きは意見の抜粋、下線がある部分は要約コメント）

自由意見の回答の全12件をテキスト分析したところ、楽しかったなどのお礼の言葉が7件で最も多く、期待の言葉が2件、会場への意見が1件、迷惑だというネガティブな意見が1件あった。

・楽しかったなどお礼の言葉7件

- ・大須やパルコ前の栄より、こじんまりとしていて、人混みもそれほどなく、今の雰囲気がとても良いと思います。
- ・コンパクトにまとまっていて、イベントとして良いと思う
- ・このようなイベントはとても良いと思う。またあれば参加した。歌だけではなく、他イベント（おどり？パフォーマー？等）良いと思う。

・期待の言葉2件

- ・地域の方が集まり楽しめる機会を増やしてほしい
- ・車が不便ではいけないけど、遊びにくる人向けの空間が欲しいです

・会場への意見1件

- ・ブース（物販）もっと増やしてほしい！

・ネガティブな意見1件

- ・酔っ払いでしつこくからんでくるヤツがいて、とても迷惑しました

女子大小路歩行者天国 協力店へのアンケート

1 調査の趣旨

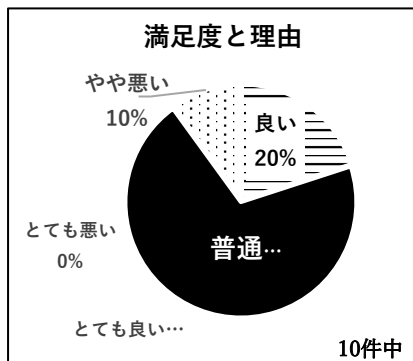
栄東まちづくり協議会のまちづくり事業の一環として、平成30年11月16日18時から23時まで、栄・女子大小路にある東栄通の池田公園の北西ワンブロックの路上をミニ歩行者天国にし、飲食空間、イベント空間としました。名駅周辺は駅上、周辺一極集中のタテの街。栄は面的に広がる街。そのまちづくりでは、道路や公園などの公共空間の役割がとても重要です。

都心部における道路の役割、機能、構造や、栄の中心市街地の女子大小路の未来を考えるため、違法駐車、放置自転車がされず、歩いて楽しい道路、にぎわいのある街を体験するイベントを社会実験として実施しました。当アンケートは、社会実験の協力店舗の評価を得るために実施しました。

2 調査の概要

- (1) 調査方法 イベント後、協力店にアンケートを配布回収した。
- (2) 調査期間 平成30年11月16日（金）18時～23時
- (3) 回収結果 件数：10通

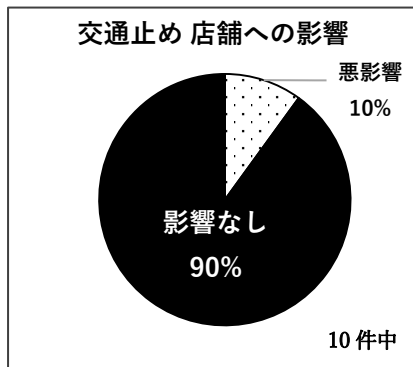
3 調査結果



Q1.全般的な満足度の理由

- ・[よい]出前が出た。
- ・[普通]可もなく不可もなく。

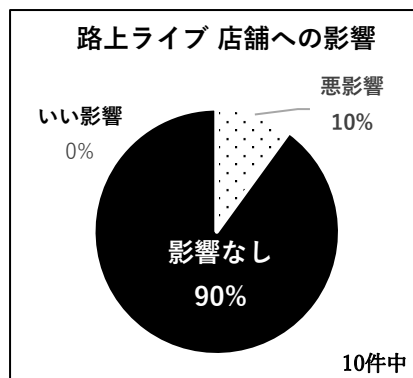
◇普通が半数を超えた。やや悪いの理由として人の流れがよくないという意見が述べられている。



Q2.交通止めの貴店舗の営業への影響の理由

- ・[悪影響]人の流れが変わった。

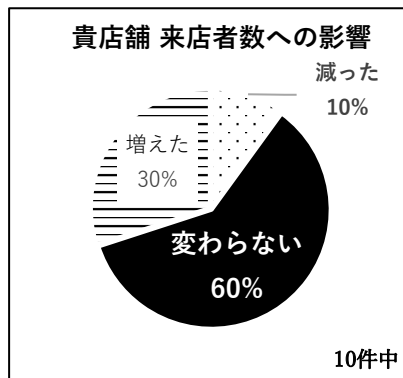
◇影響なしが9割だった。



Q3.路上ライブの貴店舗の営業への影響の理由

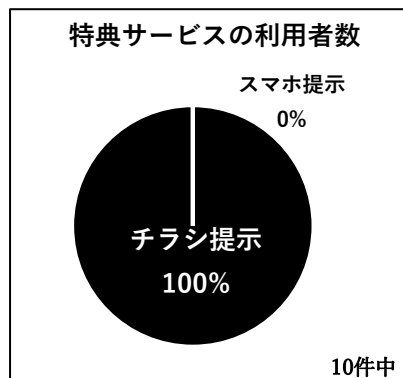
- ・[影響なし]開催場所がわからない、もっとボリュームを下げしてほしい。
- ・[悪影響]うるさい。

◇店舗への影響が良くも悪くも無かった。



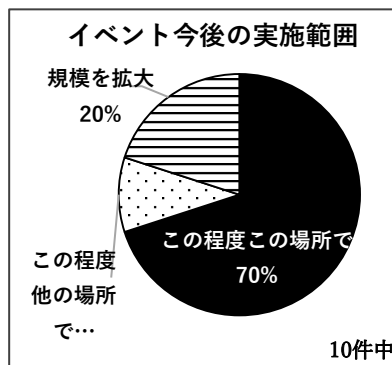
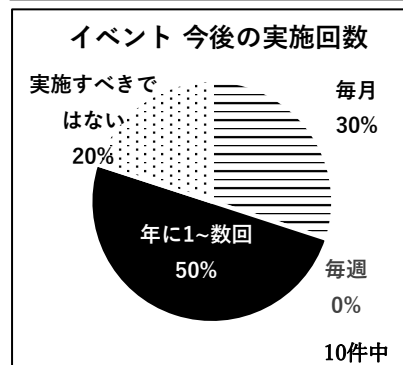
Q4.貴店舗の来店者数への影響の理由

◇変わらないが60%、増えたが30%であり、どちらかという
と客は増えたが、それほど増えていない。



Q5.特典サービス利用者数

◇チラシ提示（16人）が100%であり、スマホ等による協議
会イベントページを使用した人は0%であった。

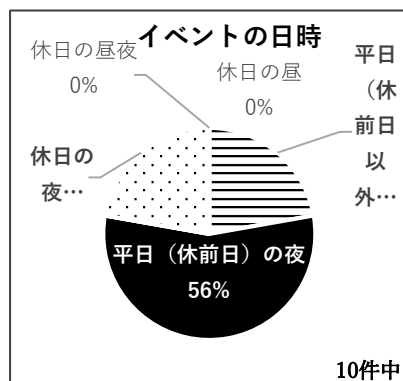


Q6-1.イベントの実施回数

年に1~数回が50%。実施すべきではないは20%。

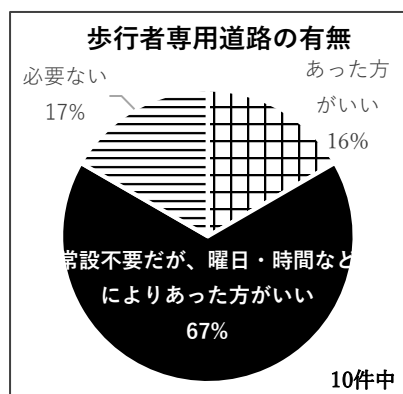
Q6-2.実施範囲

この程度この場所 70%と規模を拡大が20%、この程度他の場所が10%。



Q7.イベントの日時

◇平日（休前日）の夜が56%、休日の夜と平日（休前日以外）
の夜がともに22%である。



Q8.歩行者専用道路の有無

◇歩行者専用道路の有無については、「常設は不要だが、曜日、
時間などによりあった方がいい」67%、「あった方がいい」16%
「必要ない」17%であり、来場者とことなる回答となった。